



ひまわり



桶川市青少年健全育成市民会議

第 45 号

令和 4 年 1 月 1 日 (年 1 回発行)

発行 桶川市青少年健全育成市民会議

編集 青少年健全育成市民会議

広報発行委員会

事務局 桶川市教育委員会生涯学習文化財課

☎ 788-4970

✉ shogai @ city.okegawa.lg.jp



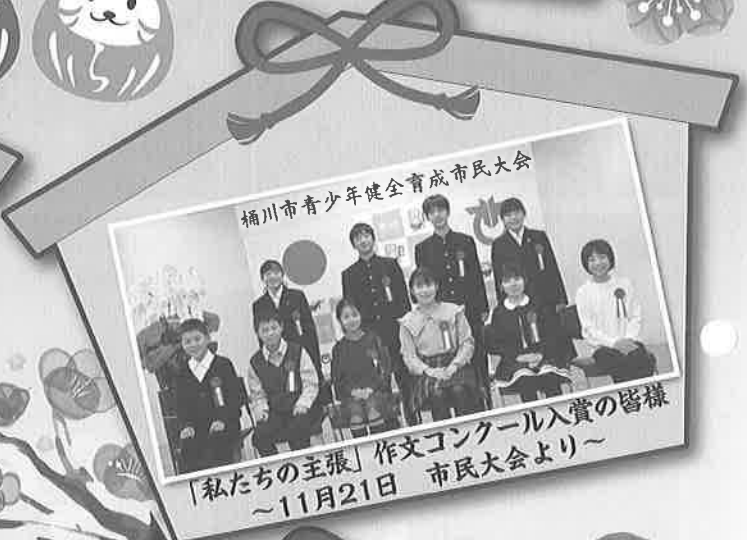
桶川市青少年健全育成市民大会
「青少年育成功労賞」を受賞の皆様
～11月21日 市民大会より～



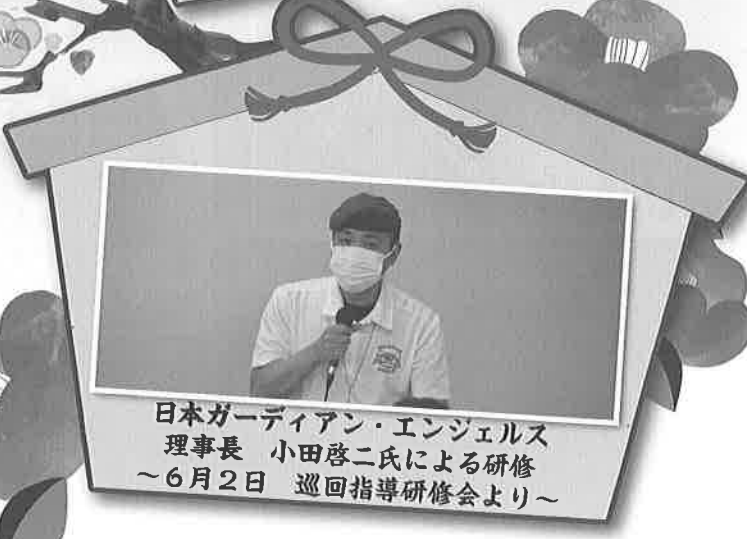
桶川市青少年健全育成市民大会
「善行賞」を受賞の皆様
～11月21日 市民大会より～



桶川市青少年健全育成市民大会
「家庭の日」ポスターコンクール入賞の皆様
～11月21日 市民大会より～



桶川市青少年健全育成市民大会
「私たちの主張」作文コンクール入賞の皆様
～11月21日 市民大会より～



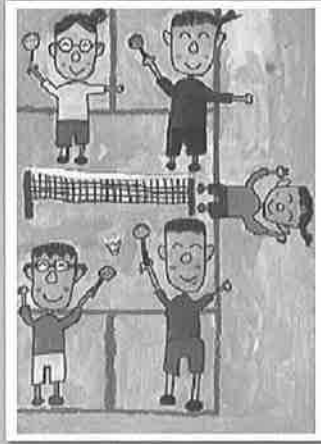
日本ガーディアン・エンジェルス
理事長 小田啓二氏による研修
～6月2日 巡回指導研修会より～

ポスター優秀賞

入賞作品は、1月4日から31日まで、市役所1階市民ギャラリーに展示します。



桶川東小学校 2年 荘司 優羽
「かぞくで楽しいかるた」



「家族でいっしょにぶーまげなうぞ!!!」
日出谷小学校 3年 関 仁翔



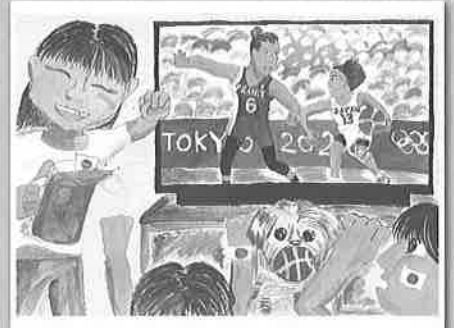
朝日小学校 3年 永瀬 馨子
「大好きな時間」



加納小学校 6年 佐々木 海嘉
「たん生日 みんなで祝う 家庭の日」



桶川東小学校 6年 有江 璃桜
「みんなでトランプ」



日出谷小学校 6年 眞下 堇梨
「バスケット最高!」



桶川中学校 2年 酒井 柚奈
「笑顔たくさん 家庭の日」



「家族」
桶川中学校 3年 宗行 環奈



「また行こう!」
桶川西中学校 3年 矢澤 史哉

ポスター優良賞



加納小学校 1年 岩崎 紗良
「家族で食べたよ、おじいちゃんのスイカ」



「みんなでながしそつめんと」
桶川小学校 3年 藤本 花



桶川小学校 3年 鈴木 美乃里
「マスクをつけていてもつたわるニコニコ笑顔」



日出谷小学校 4年 佐藤 星守奈
「コロナでも思いが伝わる家庭の日」



桶川小学校 5年 平井 穂
「ねぶたにかがやく 家族の笑顔」



桶川小学校 6年 佐藤 凜子
「長野県で家族初旅行」



「思い出たくさん 家庭の日」
桶川中学校 2年 加藤 瑚音乃



「家族でランニング」
桶川中学校 2年 島田 望有



桶川中学校 3年 西山 純恋
「Family Day」

コンクールの入賞者が表彰されました

令和3年度 桶川市青少年健全育成市民会議表彰者

- 青少年育成功労賞**
- 桶川サッカースポーツ少年団 原田 尚実知
 - 桶川ヤンキーススポーツ少年団 平川 弘一
 - 桶川カーデイナルスポーツ少年団 水田 靖士
 - 川田谷ベアーズスポーツ少年団 小杉 俊雄
 - 桶川北ミバスケットボールクラブスポーツ少年団 一ノ谷 義則
 - 桶川西ミバスケットボールクラブスポーツ少年団 松浦 司
 - 桶川レグルススポーツ少年団 辻 奈保子
 - 桶川ソフトテニススポーツ少年団 坂本 昌弘
 - 桶川剣友会 池田 守正
 - 合気道桶川愛氣会 長田 実伸
 - ボーイスカウト桶川第1団 今井 茂子

- 桶川子ども会育成連絡協議会 不破 明
- 桶川市青少年相談員協議会 細谷 莉沙
- 桶川市ジュニアリーダーズクラブ 山口 翔太
- 桶川市人権擁護委員会 鶴島 桂子
- 桶川ロータリークラブ 松岡 正祥
- 桶川地区更生保護女性会 松本 宣子
- 鴻巣地区保護司会桶川支部 野崎 さち子
- 加納小学校PTA
- 桶川市立加納小学校学校応援団環境部
- 桶川市立桶川東中学校 島村 琴実
- 桶川市立桶川東中学校 弓田 彩乃
- 桶川市立桶川東中学校 高橋 菜々乃

善行賞

- 桶川市立桶川東中学校 島村 琴実
- 桶川市立桶川東中学校 弓田 彩乃
- 桶川市立桶川東中学校 高橋 菜々乃

市民大会で行われた表彰式では、青少年の育成に顕著な功績のあった個人18名及び1団体が「青少年育成功労賞」を、青少年の模範となる善行を行った3名が「善行賞」を受賞されました。

また、市内小・中学校の児童と生徒が取り組んだ「私たちの主張」作文コンクールでは108名の応募があり、優秀賞及び優良賞各6名の表彰を行いました。

さらに、「家庭の日」ポスターコンクールでは405名の応募があり、優秀賞及び優良賞各9名の表彰を行いました。表彰された皆様や作品を紹介します。

(澁谷) (敬称略)



会長 澁谷 光章

埼玉県知事より表彰

11月16日(火)、埼玉会館において、埼玉県知事の表彰式が行われ、桶川市青少年健全育成市民会議の構成団体である、桶川市子ども会育成連絡協議会の湯浅哲朗氏が、長年にわたる熱心な青少年健全育成活動が認められ、「児童・青少年育成功労」を受賞しました。



湯浅氏

青少年育成埼玉県民会議会長より表彰

11月28日(日)、知事公館において、青少年育成埼玉県民会議の表彰式が行われ、桶川市青少年健全育成市民会議の構成団体である、桶川市子ども会育成連絡協議会の吉田洋子氏と、桶川市青少年相談員の秋山太一郎氏が「青少年育成功労賞(個人)」を受賞しました。



(左から)秋山氏、前埼玉県民会議副会長、吉田氏

埼玉県等主催 青少年の主張大会で優秀賞と特別賞を受賞

8月22日(日)、さいたま共済会館大ホールにて、埼玉県・埼玉県教育委員会・青少年育成埼玉県民会議が主催する、令和3年度「青少年の主張埼玉県大会」が行われ、昨年度、当市民会議主催「私たちの主張」作文コンクールで優秀賞を受賞した、高橋瑞希さんの作品が、高校生・一般の部で優秀賞【教育長賞】を受賞し、あわせて「輝け・明るく・裕(ゆたか)」に「特別賞」も受賞しました。



高橋さん

作文講評

小学生は、自分の身の回りの人との触れ合いや出来事をきっかけにして考えたこと、将来の夢に向かって努力していること、命の大切さや人との違いを理解し合うことなど、よりよく生きることを意識した幅広いテーマが多く、感心しました。
中学生になると環境問題や多様性、共生社会の実現など、地球規模で様々な問題を考え、解決していかなければならないという社会的なテーマを捉えており、その視点に素晴らしさを感じました。
作文という形で、自分の思いを発信し、いずれの作品も青少年らしい、はつらつとした感性豊かな文章でつづられていました。今後も夢や希望に向かって果敢に挑戦し続け、よりよい社会をつくる担い手となってくれることを大いに期待しています。(田中)

ポスター講評

今年度のポスターは、外出自粛の影響から、家庭での様子を描いた作品が多く見られましたが、「おうち時間」を工夫して楽しく過ごす様子が、昨年度よりさらに生き生きと描かれていました。
その中でも、今回の受賞作品は、一人一人の表情の豊かな表現や、構成・視点の工夫によって、家庭・家族の大切さや素晴らしさを見事に表現しているものばかりでした。コロナ禍という状況が、家族で過ごす一場面一場面を大切にみつめることができる機会となっていることを、これらの作品を通して、改めて感じることができました。
毎月第3日曜日の「家庭の日」を、明るい家庭づくりを考える日として、ぜひ、家庭の役割を再確認し、家族の絆をますます深めてほしいと思います。(竹花)

令和3年度「私たちの主張」作文コンクール 入賞者

優良賞

私の思い
私達の主張
出来る事と出来ない事
海の悲鳴に耳をかたむけて
「知る」と「つなぐ」
飢餓問題解決に向けて

桶川小学校	5年	大柳美麗
加納小学校	6年	佐藤巧
川田谷小学校	6年	三浦快斗
桶川中学校	1年	塚本丞
桶川中学校	3年	関根百奈
桶川中学校	3年	宗行環奈

優秀賞

しょうじいのゆめ
わたしとアレルギーのお母さん
私にできること
イコール
真剣に考えよう、福島のこと
考えることを止めない

川田谷小学校	4年	中野天寧
桶川小学校	4年	大金優衣
桶川西小学校	6年	青柳優莉香
桶川中学校	2年	角紬蔵
桶川中学校	2年	田中柊成
桶川中学校	3年	二瓶優月

第34回桶川市青少年健全育成市民大会

11月21日(日)、桶川市役所において、第34回桶川市青少年健全育成市民大会が開催されました。

今年度も、新型コロナウイルス感染症対策として、講演会は中止となりました。

市民大会としては、「青少年育成功労賞」及び「善行賞」、さらに、市内の小・中学生が取り組んだ「私たちの主張」作文コンクール及び「家庭の日」ポスターコンクールの表彰が行われました。本来ならば、「私たちの主張」作文コンクールの優秀賞作品の朗読が行われる予定でしたが、感染症対策として、朗読は中止となり、関係者のみで規模を縮小して実施しました。(坂本)



桶川市巡回指導員委嘱式及び研修会

6月2日(水)、桶川市役所において、市内小・中学校巡回指導員が参加し、巡回指導員委嘱式及び研修会を開催しました。

研修会は、「少年たちの心をつかむ声かけのポイント」をテーマに、特定非営利活動法人日本ガーディアン・エンジェルズ理事長の小田啓二氏に講演していただきました。

巡回指導活動は、ゆっくり歩き、小さなことにも「あえて気にかける」ことが重要です。さらに、地域の方々と積極的に交流をもち、地域情報を共有していくことで、体感治安を和らげるということにも繋がってきます。

また、少年たちとのコミュニケーションは、お互いに思うことは同じではなくても、相手の気持ちを尊重し、理解し合うことから始まります。そして、「Withコロナ」の時代となった今、マスク越しのコミュニケーションができるよう、マスクをつけていても表情が分かるように目や笑顔(アイコンタクト)ジュエスターチャームも必要だとお話してくださいました。新しい生活様式を取り入れながら、コミュニケーションや地域との連携の大切さについて学ぶ良い機会となりました。(西)

非行防止キャンペーン

7月1日(木)、午後6時30分過ぎから7時までの短い時間でしたが、桶川駅の自由通路において、当市民会議運営委員のみで非行防止街頭キャンペーンを行いました。例年のキャンペーンは、非行防止の啓発物品を配布したり、声かけをしたりして、非行防止を訴えています。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、啓発物品の配布は行わず、さらにはマスクをして声かけもせず、『毎年7月は「青少年の非行・被害防止全国強調月間」です』と書かれた横断幕を持って立つだけのキャンペーンとなりました。

また、市内の小学校4年生以上の児童及び中学生に、SNSを通じての性被害防止を訴えるリーフレットを配布しました。

青少年の非行防止・被害防止のため、当市民会議は来年度も啓発活動を積極的に実施していきたいと思っております。

(澁谷)



桶川市青少年相談員 募集

地域の子どもの達の「お兄さん、お姉さん」を募集しています！

サマーキャンプや、子ども会でのレクリエーション活動、相談員同士の研修や交流会などの活動を行っています。子どもが好きな人、ボランティア活動に興味がある人は、生涯学習文化財課までお問い合わせください。

澁谷会長の好きなもの



(ちーかま)

ひまわりのつばき

★青少年の皆さん！人生は山あり谷あり嵐あります。日常では、上り坂、下り坂、そしてまさかという事がありますが、若い時こそ夢と希望とやる気を持って、日々前進してください。後退からは何も生まれませんから！

(澁谷)

★「〇〇中止だって」「また今度(来年)だね：」「この言葉は減らして」考えて、工夫してみたらできたよ」この言葉をどんどん口にしていきたい。子ども達も始めていることは、大人だって頑張るぞ。

(西)

★いつの間にか、マスク・手洗いが身に付いてきた日々。あと、ほんの少ししたら「あんなことあったね」って笑って話せる日が来る事を願って前を向いていこう。

(坂本)

編集後記

今年度もまた、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域や学校行事が、相次いで中止・縮小になるなど、子ども達の我慢をたくさん見てきました。優先するべきは、もちろん「命」ですが、大人になってから、小さな頃の思い出に支えられることも、少なくありません。

そんな中、昨年、我が家の双子の息子達が、幼稚園に入園しました。またここから、たくさんの方々のかかわりが始まる事に、とてもワクワクして

★大人になって思うこと。子どもの頃に思っていた大人とはだいぶ違う。でも気付いたら大人側で、そのうち子どもも大人側で。仲間の様な良い関係になりたいと思います。(対馬)

★子どもを褒める、簡単なように思えるけど、子どもの年齢が上がるにつれて、私にはとても難しくなっている。たまには、色々目をつぶり、子ども達を褒めてあげたい。(三根)

★鉄棒から落ち、顔をポールにぶつけ、怪我をした息子。心配したけど、出来ないことに頑張ってチャレンジした証のようでした。誇らしげな顔をした息子を褒めてあげたいと思いました。(黒田)

★失敗しないと学べない事もあるし、失敗したからこそ気付くこともある。「失敗は成長の種」子どものうちにたくさん挑戦して、素敵な花を咲かせてください。(柳田)

います。先の見えない不安な時代ではありますが、だからこそ、人との繋がりを大切にしていきたいと思えます。また、子ども達には、「ひまわり」の花のように、いつも太陽に向かって、明るい笑顔で前進して欲しいと願っています。

その為には、家庭・地域・学校の連携が必要不可欠だと感じています。皆様からの、日頃のご理解・ご協力に感謝申し上げます。子ども達の可愛い笑顔を、皆様と一緒に見守っていきなさいと思います。どうか、幸多き一年になりますように！！

(三根)